

祭ばやし

ビタミンC

第82号

平成30年10月1日発行
錦秋号



「祭ばやし」の強力ライバル「noci.com」に

今回祭ばやし取材班がお許しをいただいて
逆取材しました。

第82号 目次

■特集「愛知県立古知野高校地域情報誌 noci.com作成現場に新り込む!」	2,3
■季節行事	4,5
■デイサービス便り	6
■今昔物語	7
■スタッフON/OFF	7
■峰崎部屋施設の訪問	7
■介護の豆知識	8

介護の豆知識

KAIGO no MAME chishiki



車いすから車いすへの 移乗介助を見直そう!

移乗介助は介助者の腰におおきな負担をかけやすい場面です。
でも、それは利用者の身体に残された機能を介助の際にうまく利用して
いないために、介助に余分な力が必要となっているからかもしれません。
動作をするためには、いくつかポイントとなる動きがあります。

✓立ち上がる前にこの動きをチェック!

- 首が前に傾いているか
前にかがみこみやすくなります。
- 膝が肩幅程度に開いているか
膝が開きすぎていて、
足の筋力を十分に発揮することができません。
- 上半身の重心(みぞおちあたり)が、
足の支持基底面の上に移動できているか
足を手前に引き上半身を前に倒した時、みぞおちが
支持基底面に入らないと、足に力を入れることができません。



「支持基底面」って何?

右図の斜線部分が支持基底面です。



✓方向転換の前にこの動きをチェック!

- 首、上半身が向きたい方向に向いているか
「目や首が向いたほうに自然に体が向く」
という体本来の動きを利用します。
- できるだけまっすぐ体が起きているか
骨盤がまっすぐになり、
足を振り出すために股関節を曲げやすくなります。
- 軸足に体の重心がかかっているか
振り出すほうの足に重心が
残っていると、足を振り出すことができません。



まずは利用者ができる動きを把握しましょう。
そうすれば、利用者が今もつ能力を引き出して維持することができ、
さらに介助者にも大きな負担がかからなくなります。

参考資料:お試しレクリエ 世界文化社

編集後記

今回の特集では愛知県立古知野高等学校の総合ビジネス科観光コースの生徒さんが作成した情報誌「noci.com」の作成現場を
取材させていただきました。関係の先生方や生徒の皆さまには心より感謝申し上げます。毎回発行部数が2000部で市役所や駅
及び商業施設にて配られているとこのことで発行部数1600部の愛知慈恵会を400部も上回る古知野高校の地域情報誌は取材方法
から配布方法などにおいて多くの勉強になりました。これからもお互いに頑張ってください。Hurray!!Hurray!!古知野高校
総合ビジネス科!是非皆さんもnoci.comを応援してあげてくださいね。

祭ばやし 82号 編集長 T・M



施設毎の詳細情報やイベント情報・
研修実施状況を随時更新中です。
皆様、是非ご覧ください!!

<https://iful-jikeikai.com/>

ご利用者もスタッフも
笑顔あふれる空間を
つくり続けたい

社会福祉法人 愛知慈恵会



あいがいっぱい あふり TEL.0491-0115 一宮市浅井町西海戸宇余陸寺45-1 TEL.0586-78-8441 FAX.0586-78-8485	横丁のデイサービスセンター 座・柿ノ木 TEL.0491-0115 一宮市浅井町西海戸宇小山65-1 TEL.0586-78-2171 FAX.0586-78-2172	ライフガーデン 萩の里 TEL.0491-0363 一宮市萩原町東宮重宇連原36-1 TEL.0586-68-7311 FAX.0586-68-5826	雅び・遊び・喜び 田苑そよ風 TEL.0491-0363 一宮市萩原町馬寄宇東瀬古55-1 TEL.0586-47-6811 FAX.0586-47-6812	風の苑 マゲノリア TEL.0491-0051 一宮市今伊勢町馬寄宇東瀬古55-1 TEL.0586-67-2311 FAX.0586-67-2430	ひだまりの詩 新和楽荘 TEL.0491-0363 一宮市萩原町東宮重宇連原24-1 TEL.0586-67-2311 FAX.0586-68-7337	西御堂の里 三笠 TEL.0491-0365 一宮市萩原町西御堂宇虫祭1-1 TEL.0586-69-4811 FAX.0586-69-6491
こはるびより 安城 TEL.0444-1162 安城市小川町三ツ塚1-1 TEL.0566-73-7011 FAX.0566-73-7010	春のかけり 田苑春風 TEL.0444-1162 安城市小川町三ツ塚1-1 TEL.0566-99-6514 FAX.0566-99-6524	あかねぞら 大黒・恵比須 TEL.0444-1213 安城市東端町山ノ神115-1 TEL.0566-48-8111 FAX.0566-48-8110	白川郷 日本一小さな特産 瀬音 さくら山荘 TEL.0501-5503 岐阜県大野郡白川村長瀬宇小保木755-1 TEL.05769-5-2141 FAX.05769-5-2170	大川温泉デイサービスセンター しゃくなげ荘 TEL.0501-5506 岐阜県大野郡白川村御母衣316-22 TEL.05769-5-2217 FAX.05769-5-2269	南信州 ねばねの里 なごみ TEL.0395-0701 長野県下伊那郡根羽村3015-362 TEL.0265-49-2022 FAX.0265-49-2023	SINCE1989 法人本部事務所 TEL.0491-0365 一宮市萩原町西御堂宇虫祭1-1 TEL.0586-69-4811 FAX.0586-69-4812

スタッフ募集中

只今スタッフを募集しております!!

■お問い合わせ
あいふの里 TEL: 0586-78-8441 (総務)
瀬音さくら山荘 TEL: 05769-5-2141 (総務)
萩の里 TEL: 0586-68-7311 (総務)
風の苑 マゲノリア TEL: 0586-47-6811 (総務)
小川の里 TEL: 0566-73-7011 (総務)
ねばねの里「なごみ」 TEL: 0265-49-2022 (総務)
新和楽荘 TEL: 0586-67-2311 (総務)
西御堂の里 三笠 TEL: 0586-67-2430 (総務)

介護スタッフ
看護スタッフ
ホームヘルパー
夜勤スタッフ

詳しくはホームページ

愛知慈恵会 検索

<https://iful-jikeikai.com/>



noci.com 作成現場に斬り込む!

地域密着の歴史・名所旧跡
タウン情報が満載!

☆古知野高校とのつながり

古知野高校は昭和27年に創立され県下で数少ない福祉科を有する高校です。また、平成30年度愛知県高等学校ハンドボール選手権大会で優勝され、全国福祉高等学校長会第24回福岡大会では文部科学大臣賞を受賞されるなどその活躍には素晴らしいものがあります。

学科及びコースとして総合ビジネス科(進学会計・販売士・観光)、情報処理科(情報処理技術者・情報活用)、生活文化科(被服・食物)、福祉科があります。生徒数は691名。これまで優秀な介護士を輩出し愛知慈恵会にも沢山の卒業生が就職し現在も第一線で活躍中です。

4 古知野高校



表紙グループ



レイアウト案



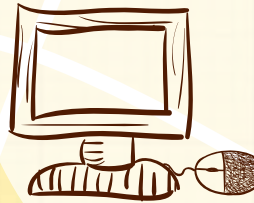
古知野高校 作成現場

学内試験も終わって、校正に入っている授業に伺いました。

専用ソフトではなくワードソフトでスクアナを使い、手書きのデザインや画像を取り込み自由に作成しています。インターネットに接続されているので、わからないことは直ぐ調べられます。先生からはネットからの情報の取り方やレイアウト、校正のアドバイスももらいながら真剣な様子で作業を進めています。出来上がりが楽しみです。

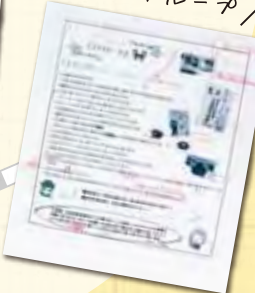


GOAL



前回の6月号

特集グループ



4月25日

アピタ江南西店

愛知県立古知野高等学校総合ビジネス科観光コースの生徒さんが授業の一環で作成した情報誌noci.comをアピタにて来店された方に手渡していました。その記事・内容は秀逸!取材力がスゴ〜い!

愛知慈恵会には、古知野高校福祉科の卒業生が活躍中!また在校生は介護実習生として受入れさせていただいております。その関係からさっそく今回の取材となりました。



START



5月16日

最新号の記事となる愛知県江南警察署江南駅前交番へ事前にアポイントを取るの先生ですが、取材の質問内容を考えるのは生徒達です。

警察官への質問とその回答は情報誌に譲るとして、あまり入ることない交番の中での取材、その後は、減多に乗ることのないパトカーの説明を受けたりと知らないことだらけです。



2

江南駅前交番

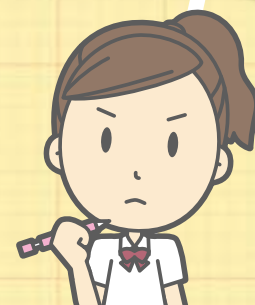
3

江南市
防災センター



5月23日

今回の取材は、江南市役所に隣接し江南市防災安全課が運営する江南防災センターの取材です。交番の取材を行ったメンバーとは、別のチームが取材に臨みます。市民を災害から守るため、日々、防災計画や防災活動に取り組んでいる様子を伺います。



季節行事



夏祭

7月22日(日)夏祭が行われました。演目は子どもたちによるチアダンス、フラダンス、2団体によるよさこい演舞があり、内容も盛りだくさんで、お祭りを盛り上げていただきました。

屋台はたこ焼き、焼きそば、外部のボランティアによる焼き鳥等、どれも好評で長蛇の列が並び、外部から来て頂いた八百屋販売も大盛況で、今年もたくさんの方にお越しいただけました。

例年がない暑さですが、お祭りで皆さん暑気払いもでき、元気に夏を乗り切れそうです！



なごみ

100歳のお誕生日会 ☆ますます元気☆

7月15日(日)ねばねの里「なごみ」最高年齢100歳のファミリーのお誕生日会を行いました。開所以来、100歳の方のお祝いをするのは初めての試みで、スタッフ一同いろんなアイデアを出しながら準備を進めてきました。

スタッフ手作りのパースデーケーキ、くす玉、ピアノ伴奏における皆での合唱♪賑やかな楽しい時間を過ごす事ができました。スタッフからは根羽杉で手作りされた表札がプレゼントされ、「しあわせだなあ〜。」と目を細めるファミリーの顔が印象的でした。

ますます元気な皆さま。100歳と言わず200歳までを目標にお体大切にしてくださいね♪



三笠

夏のお祭り

地域の皆さまと一緒に祭りを楽しみたいと、8月4日(土)・5日(日)に西御堂団地主催の夏祭りに出掛けました。

ファミリーのお孫さんもおじいちゃんに聞かせたいと、カラオケ大会に参加し、歌を披露。拍手の際、ファミリーの動かないはずの右手もかすかに動き感動を呼びました。

他のファミリーも暑さをものともせず、屋台や盆踊りなど地域の方と輪になって一緒に楽しみました。ご家族も多数参加してくださり、とてもにぎわい、楽しいひと時を過ごすことができました。



田んか風 野菜づくり

今年はお利用者とレクリエーションの一環として“野菜を育てる”ことを行事として行いました。5月のお天気の良い日にプランターへ胡瓜・プチトマト・ピーマンの苗を植えていただきました。ファミリーは「はよう大きならんかな」「今年は暑いで大丈夫やろうか」等まるでお子さんを見るような眼差しでした。お世話をした甲斐があり、7月に入り少しずつ大きくなりはじめ、中旬には収穫し、皆さんで美味しくいただきました。さあ今度は何を植えようかな。



田んか春風 アイシンAwの方によるレクリエーション

7月13日(金)に毎年恒例のアイシン・エイ・ダブリュ株式会社の新入社員の皆さまによる交流会(レクリエーション)が行われました。

初めに浦島太郎の劇があり、次にファミリーと一緒にボーリングを行っていただきました。ご利用者の皆さまも若い社員さんの誘いを受け、積極的にボールを投げられてみえ、一番になられた方にはお手製の金メダルを贈呈され、メダルが首にかけられると、全員から拍手が贈られました。

最後には津軽海峡冬景色を全員で合唱し、孫と過ごすような楽しい時間は大盛況のうちに終了しました。



瀬音 さくら山荘 花火

夏の風物詩といえば花火!ということで、数年ぶりのさくら山荘花火大会を行いました。夕食後、日の暮れた19時・・・さくら山荘のファミリーは就寝時間が早く数名のみの参加になってしまいましたが、参加したファミリーは手持ち花火や線香花火、噴出し花火にと、目を輝かせて見入っていました。白川郷は荻町(おぎまち)内が花火禁止区域の為、荻町の住人は夏と言えどなかなか花火ができません。今回はスタッフとそのご家族も参加でき、とても貴重な体験になりました！



新和楽荘 秋祭り ～みんなで踊ろう!! ダンシングヒーロー♪～

9月15日(土)新和楽荘の秋の風物詩、秋祭りが行われました。今年も踊るまい会の皆さまやファミリーのご家族、音楽療法の先生にお越しいただき、盆踊りがスタート。軽快な太鼓のリズムと慣れ親しんだお囃子に合わせ、自然と体は揺れ動き、踊る人も眺める人も楽しいひと時を共にすることができました。クライマックスは昨年も流行した「ダンシングヒーロー♪」残暑感じる秋の夜長を熱く、熱く盛り上げてくれました。



マゲナリア ～マグノリア 10 year anniversary～

7月21日(土)開所10周年のお祝い行事を行いました。今年の感謝祭では一宮市内で活動されているフラダンス教室の方をお招きしてフラダンスをファミリー、ご家族と一緒に鑑賞しました。

マグノリア男性スタッフ2名も一緒に踊るために会場内へ登場すると、ファミリー、ご家族も大爆笑で、ご家族の中には男性スタッフの写真を撮られている方もみえました。

ファミリー、ご家族、地域皆さんのお力をお借りし10周年を迎える事ができました。いつも本当にありがとうございます。来年の感謝祭も楽しみにしててくださいね。



ライフガーデン 手作りおやつレクリエーション

8月9日(木)手作りおやつレクリエーションを行いました。今月は夏真っ盛りのため、ひんやりデザートということでアイスクリームパフェを作りました。チョコフレークを入れて、アイスに生クリームをのせて、最後にフルーツを飾ったら・・・完成です♪

冷たいアイスクリームで涼まれながら、皆さん、美味しそうに召し上がっていただきました☆また一緒に作りましょうね！



いふの里 尾張の味を楽しみました!!

残暑がまだまだ厳しいお盆の日。今年は尾張の味「みそかつ丼」を味わっていただきました。甘辛いみその香りがフロアいっぱいに広がり、ファミリーの笑顔があふれていました。

“昔を思い出しているのかな”その姿からいろいろな想像ができました。ゆっくり味わって食べられる方や、口いっぱい頬張って食べられるなどいろいろな方がみえ、見ているスタッフもなんだかうれしくなりました。お腹もいっぱいになり、暑さに「勝つ」。多くの喜びの声をいただくことができました。





菅沼眞佐人さんは、大正11年3月29日に長野県下伊那郡根羽村下町(しんまち)で5人兄弟の三男としてお生まれになり、現在96歳になられます。

ご家業は製材・製炭業をされており、炭を作って安城市に出荷される生活の中で幼少時代は過ごされました。

根羽の小中学校に通われた後、愛知県の安城農林高等学校へ、またご卒業後東京農業大学へご進学されました。勉学に励まれていましたが、第二次世界大戦により、「学徒出陣」といわれる高等教育を受けていた大学2年生在学中の眞佐人さんにも、兵力不足の為召集され、幹部候補として訓練を受けられました。豊橋陸軍予備士官学校に入学され、北海道・博多・釜山(韓国)・満州と訓練等で移動し、陸軍少尉になられた小倉での滞在中に終戦を迎えられました。以前に戦争に関する書籍の取材も受けられたご経験もあり、眞佐さんご自身で作成された一冊のアルバムの中に、写真と文章による戦争の記録や日記が大切に保管されていました。満州でのご滞在時に書かれた日記を静かに感慨深く読んでおられた姿が印象的でした。

また、聞き取り取材に応じてくださいました奥様より、小倉に関するエピソードもお話くださいました。アメリカ軍が小倉に原爆を投下する予定だったが、上空は予定当日曇っており、小倉への原爆投下は見送られ、眞佐さんも小倉での原爆投下を間逃れた…ということでした。

終戦後は根羽村役場に勤務され、管理職もご経験された後、根羽村村長になられました。村長の執事は2期8年を勤めあげられ、眞佐さんの高校・大学でのOBやご人脈により、「矢作川水源の森」という根羽村から中京方面に流れる矢作川流域に関する政治構想の礎を築かれ、主な功績として残されました。

村長を退かれてからは、農業をしたり毎日健康維持に努めておられましたが、ご自宅で転倒後車いす生活となり、現在なごみのデイサービスをご利用いただいています。

今現在の趣味活動は少なくなりましたが、弓道(三段)・陶芸がご趣味で、陶芸家の方に習われるほど熱心だったご様子です。

取材者：ねばねの里「なごみ」林 大介

今昔物語

第34回



ここでは、「今昔物語」と題しまして、ファミリーの歩まれた様々な人生にスポットを当て、若かりし頃の思い出や、現在の生活を語って頂きます。今回はねばねの里 なごみ デイサービスご利用者菅沼 眞佐人さんにお話を伺いました。

スタッフ ON と OFF

高齢者福祉施設 新和楽荘
生活相談員 加藤 康太さん

私たち、仕事も遊びも全力です！

ONの私



私は、生活相談員の仕事させていただいています。さまざまなファミリーの今日まで生きてきた道筋に関わり、価値観や考え方に触れることで多くのことを学ぶことができ、この仕事の尊さを感じる日々を過ごしています。ファミリーが笑顔で毎日が穏やかでいられるように努めていきます。

OFFの私



私には昨年9月に生まれ、満1歳になる子どもがいます。目が離せない時期で夫婦共々振り回せる日々ですが、目に入れても痛くないほど可愛く癒しになっています。また、家事や育児に大変な妻の負担を減らすためにお風呂掃除や食器洗いなどの家事の手伝いを積極的に行っています。



みねづき 峰崎部屋の施設訪問

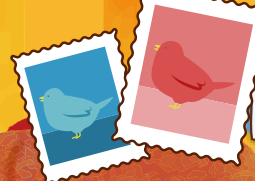


8月8日(水)ねばねの里なごみに、隣村の平谷村に毎年大相撲夏巡業にいられている峰崎部屋の力士4名が来てくださいました。

ご訪問いただいた力士は、モンゴル出身の幕下豪頂山(ごうちょうざん)、長野県飯田市地元出身の三段目満津田(まつだ)、長崎県出身の三段目若肥前(わかひぜん)、京都府出身の三段目大勇人(おおいさと)の4名の力士でした。

起きて来られるのも困難な特養のファミリーにも、お部屋を回って握手や写真に快く応じてくださり、その後はデイホールで皆さんの質問にお答えいただき、とても貴重な時間が過ごせました。ご利用者の皆さまにはとても嬉しそうな笑顔を見せてくださいました。

「南信州」新聞 2018年8月10日掲載



デイサービス便り vol.14

～流しそうめんはいかが？～

夏の麺といえばそうめん!夏祭りの行事として流しそうめんを毎年行っています。4mほどの竹を設置し、ご利用者はスタンバイ。スタッフの流しますよーの声に、箸で上手にすくいます。「あー、いっちゃったー」、「たくさんすくっちゃったー」とご利用者の声。黙々とご自分のペースで召し上がるご利用者も…。夏の風物詩です。



「東別院法話」

月に一度の東別院法話で、「お坊さん漫才」「えしんりょう」養蓮寺の中村 亮住職と随縁寺の土井 恵信住職が、難しく感じがちな法話を面白おかしく皆に伝えられればと漫才を始めたそうです。年に2回来てもらい、「漫才法話」を行っていただいています。ご利用者の皆さまからも受けが良く、若いお坊さんの漫才法話にお腹を抱え笑う姿がみられました。 スタッフ、ご利用者ともに楽しいひと時を過ごす事ができました。

「青春時代にタイムスリップ」

“夏真っ盛り”8月3日(金)は、40.3度もありましたが、昼食と十分な水分補給をして、木曾川資料館にて懐メロを聴いてきました。蓄音器から流れるレコードの音色に誘われて大きな声でよく歌を歌われてみえました。曲が終わるたびに学生時代や新婚当時、兄弟や両親、友達のことなどを思い出されて感動されていました。昔の歌って本当に素敵ですね。



食を楽しむ

昨年に引き続き、今年も梅干し作りをしています。今年は梅を丁寧に並べザルに干した後、はちみつ漬けにします。「おいしくなりますように☆」デイサービスの畑でなったキュウリを鑑賞用に持っていくと「こんな大きなキュウリは、塩もみか酢もみにするのがいいね。」とご利用者の声があり、手慣れたご利用者と慣れないスタッフで調理し、みんなで味見。お昼ごはんに皆さんで美味しくいただきました。



保育園児が遊びに来ました！

白川保育園・平瀬保育園の両園から年少さん11名が遊びに来て、皆で七夕飾り作りをしました。織姫や彦星の紙人形や天の川、カラフルなポンポンを上手に作ることが出来ました。特に織姫と彦星は作る人によって表情が異なり、個性のある作品が出来上がりました。製作の後には園児たちの七夕の歌を聞き、すっかり七夕気分に入るご利用者の方々がいました。園児の皆、また遊びにきてね♪

